

8. 発達障害者生活状況調査結果

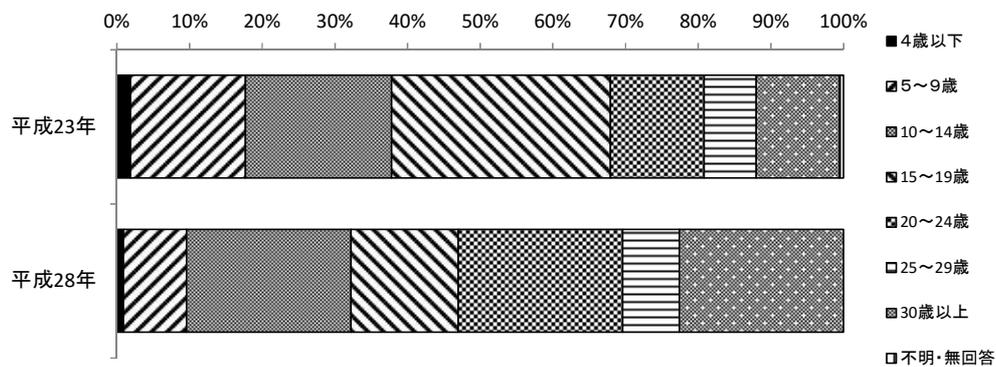
●年齢

年齢構成は、「10～14歳」「20～24歳」「30歳以上」がいずれも22.6%となっている。

問1 年齢

(単位：%)

	平成23年	平成28年
4歳以下	1.9	0.9
5～9歳	15.8	8.7
10～14歳	20.1	22.6
15～19歳	30.1	14.8
20～24歳	12.9	22.6
25～29歳	7.2	7.8
30歳以上	11.5	22.6
不明・無回答	0.5	0.0
合計	100.0	100.0
n	209	115



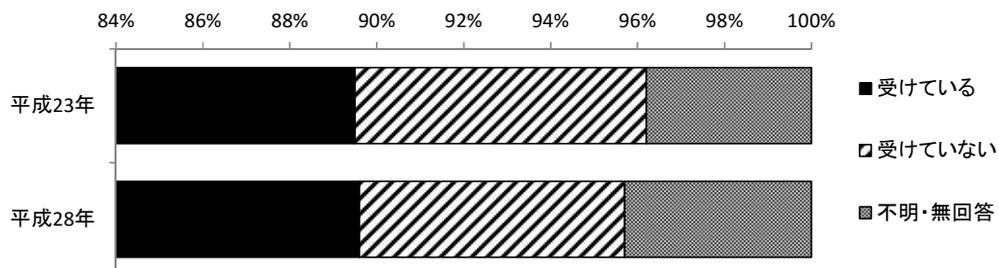
●障害の程度等

発達障害の診断の有無については、「受けている」が89.6%となっている。

問10 発達障害の診断の有無

(単位：%)

	平成23年	平成28年
受けている	89.5	89.6
受けていない	6.7	6.1
不明・無回答	3.8	4.3
合計	100.0	100.0
n	209	115

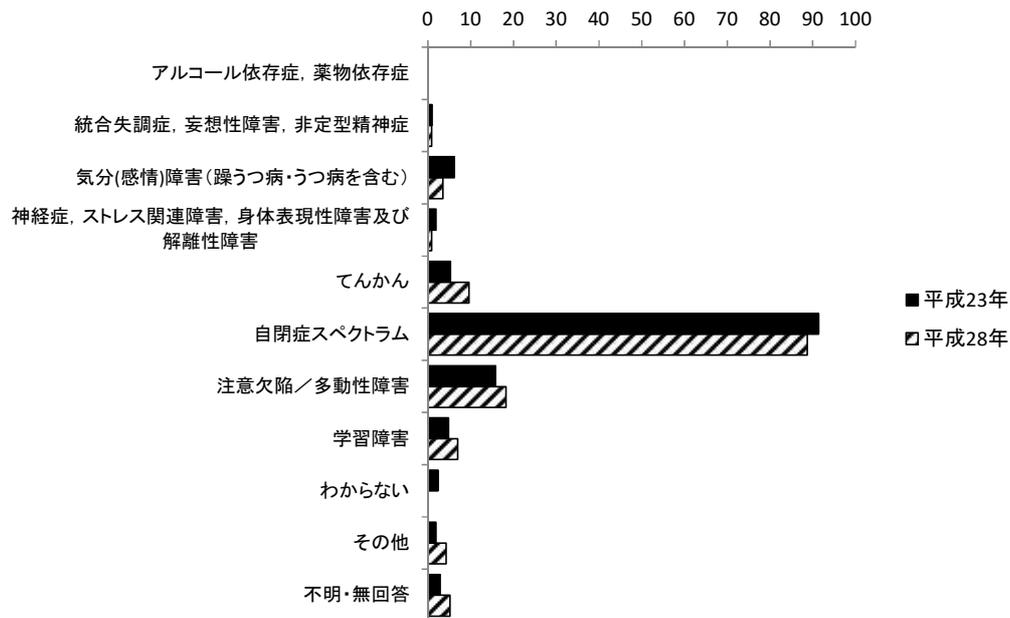


精神疾患（複数回答）については、「自閉症スペクトラム」が88.7%と最も多く、次いで「注意欠陥/多動性障害」が18.3%、「てんかん」が9.6%となっている。

問 1 1 精神疾患の種類（複数回答 2 つまで）

（単位：％）

	平成 23 年	平成 28 年
アルコール依存症, 薬物依存症	0.0	0.0
統合失調症, 妄想性障害, 非定型精神症	1.0	0.9
気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)	6.2	3.5
神経症, ストレス関連障害, 身体表現性障害及び解離性障害	1.9	0.9
てんかん	5.3	9.6
自閉症スペクトラム	91.4	88.7
注意欠陥/多動性障害	15.8	18.3
学習障害	4.8	7.0
わからない	2.4	0.0
その他	1.9	4.3
不明・無回答	2.9	5.2
合計	133.6	138.4
n	209	115

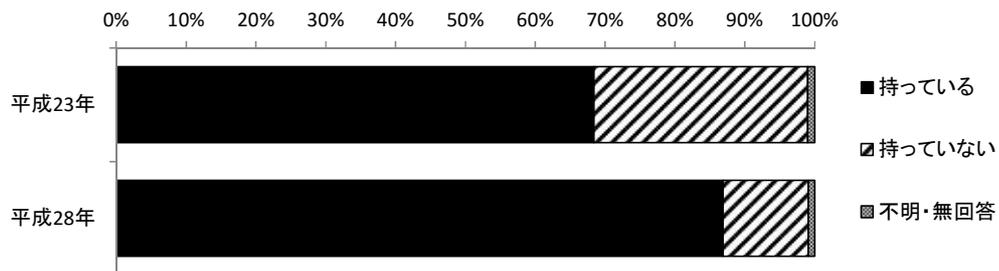


障害者手帳の有無については、「持っている」が87.0%となっている。

問6 障害者手帳等の有無

(単位：%)

	平成23年	平成28年
持っている	68.4	87.0
持っていない	30.6	12.2
不明・無回答	1.0	0.9
合計	100.0	100.0
n	209	115

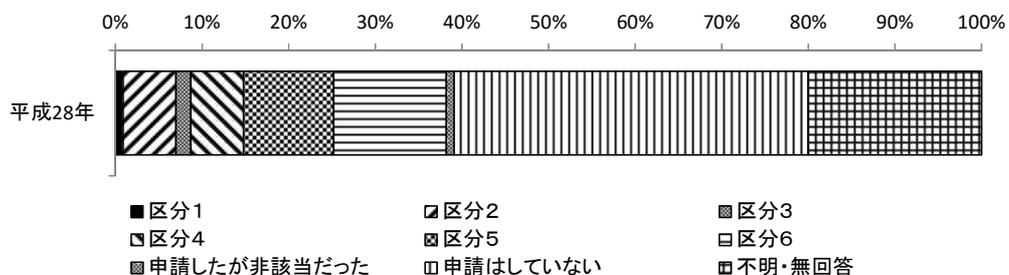


障害支援区分については、「申請はしていない」が40.9%と最も多くなっている。

問13 障害支援区分

(単位：%)

	平成28年
区分1	0.9
区分2	6.1
区分3	1.7
区分4	6.1
区分5	10.4
区分6	13.0
申請したが非該当だった	0.9
申請はしていない	40.9
不明・無回答	20.0
合計	100.0
n	115



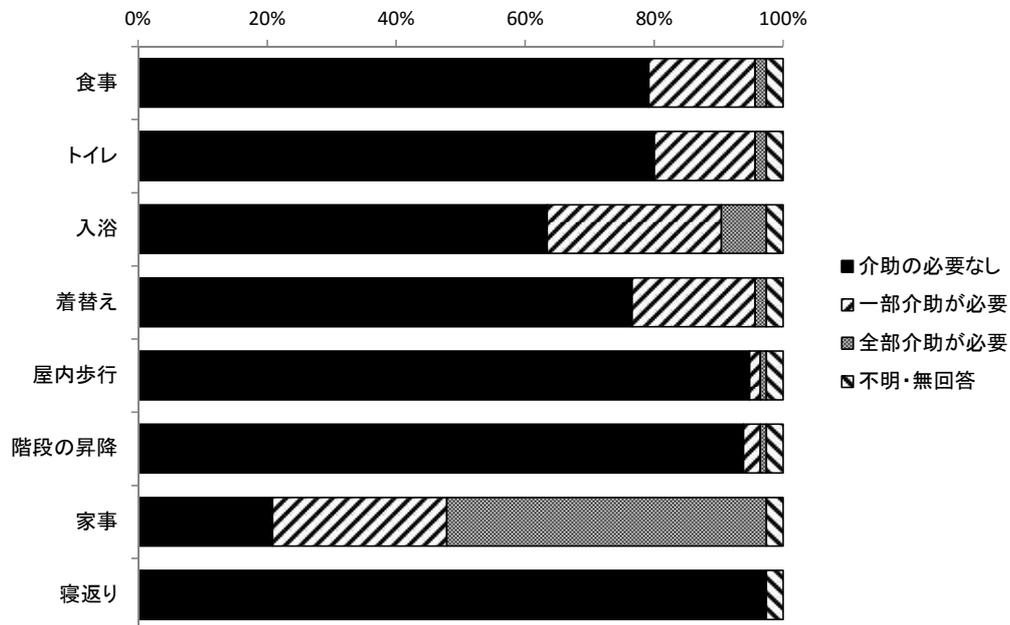
●生活の状況

入院患者の日常生活動作（IADL）の中で，“何らかの介助が必要”（一部介助が必要＋全部介助が必要）である人の割合が高いものは、「家事」で76.6%，次いで、「入浴」が34.0%，「着替え」が20.8%と続いている。

問16 日常生活動作の状況

(単位：%)

	食事	トイレ	入浴	着替え	屋内歩行	階段の昇降	家事	寝返り
介助の必要なし	79.1	80.0	63.5	76.5	94.8	93.9	20.9	97.4
一部介助が必要	16.5	15.7	27.0	19.1	1.7	2.6	27.0	0.0
全部介助が必要	1.7	1.7	7.0	1.7	0.9	0.9	49.6	0.0
不明・無回答	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	115	115	115	115	115	115	115	115



主な介護者は、「父または母」が95.5%となっている。

問17-1 主な介助者

(単位：%)

	平成23年	平成28年
夫または妻	1.4	0.0
父・母	71.8	95.5
子ども	0.0	0.0
兄弟姉妹	0.0	0.0
その他の親族	0.5	0.0
近所の人・知り合いの人	0.0	0.0
民間有料介護者（家政婦など）	0.0	0.0
ホームヘルパー	0.5	0.0
ボランティア	0.0	0.0
入所施設、グループホーム等の職員*	-	3.4
その他	0.5	0.0
主な介助者はいない	0.0	0.0
不明・無回答	25.4	1.1
合計	100.0	100.0
n	209	115

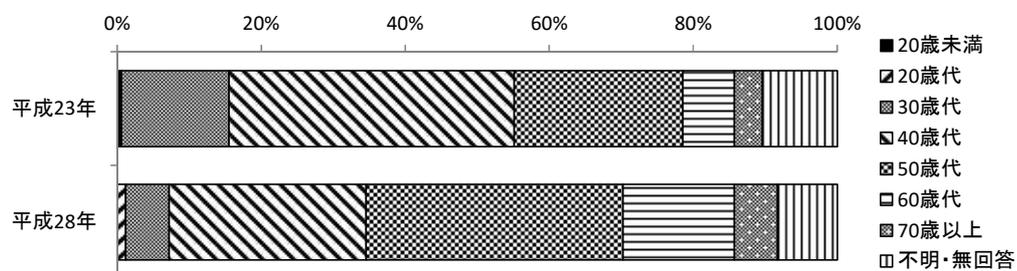
* 平成28年追加項目

主な介護者は、「50歳代」が35.7%と最も多く、ついで「40歳代」が27.4%となっている。

問17-2-1 主な介助者の年齢

(単位：%)

	平成23年	平成28年
20歳未満	0.6	0.0
20歳代	0.0	1.2
30歳代	14.9	6.0
40歳代	39.6	27.4
50歳代	23.4	35.7
60歳代	7.1	15.5
70歳以上	3.9	6.0
不明・無回答	10.4	8.3
合計	100.0	100.0
n	154	84



●障害福祉等に関するサービスの利用状況

福祉サービスの利用状況については、ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護）は、「必要がないので利用したことがない」が48.7%と最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が26.1%となっている。

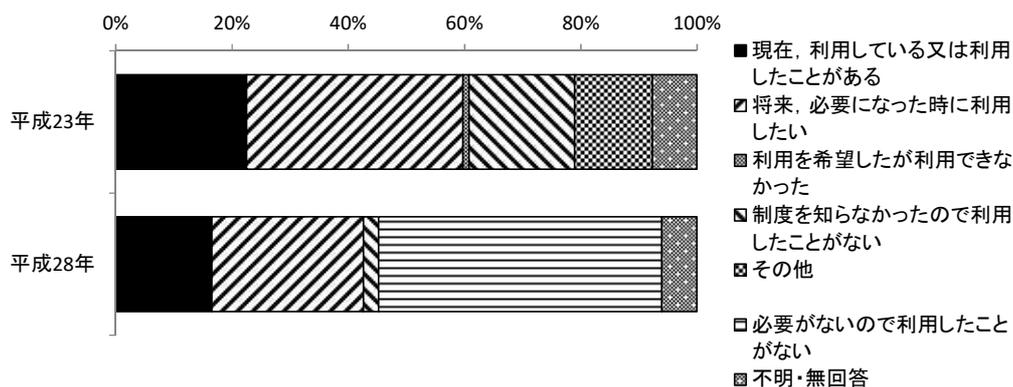
問18（1） ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護）の利用状況

（単位：％）

	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	22.5	16.5
将来、必要になった時に利用したい	37.3	26.1
利用を希望したが利用できなかった	1.0	0.0
制度を知らなかったので利用したことがない	18.2	2.6
その他 *1	13.4	-
必要がないので利用したことがない *2	-	48.7
不明・無回答	7.7	6.1
合計	100.0	100.0
n	209	115

*1 平成28年は項目なし

*2 平成28年追加項目



短期入所（ショートステイ）は、「必要がないので利用したことがない」が39.1%と最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が26.1%となっている。

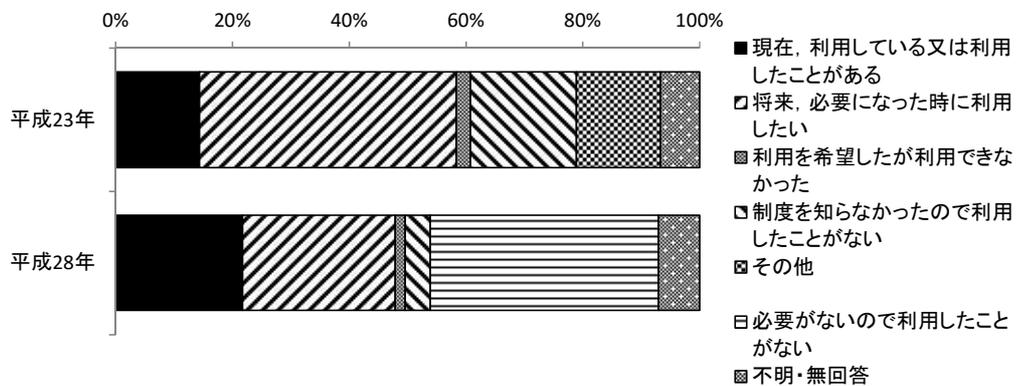
問18(2) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

(単位：%)

	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	14.4	21.7
将来、必要になった時に利用したい	44.0	26.1
利用を希望したが利用できなかった	2.4	1.7
制度を知らなかったので利用したことがない	18.2	4.3
その他 *1	14.4	-
必要がないので利用したことがない *2	-	39.1
不明・無回答	6.7	7.0
合計	100.0	100.0
n	209	115

*1 平成28年は項目なし

*2 平成28年追加項目



生活介護は、「必要がないので利用したことがない」が53.0%と最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が19.1%となっている。

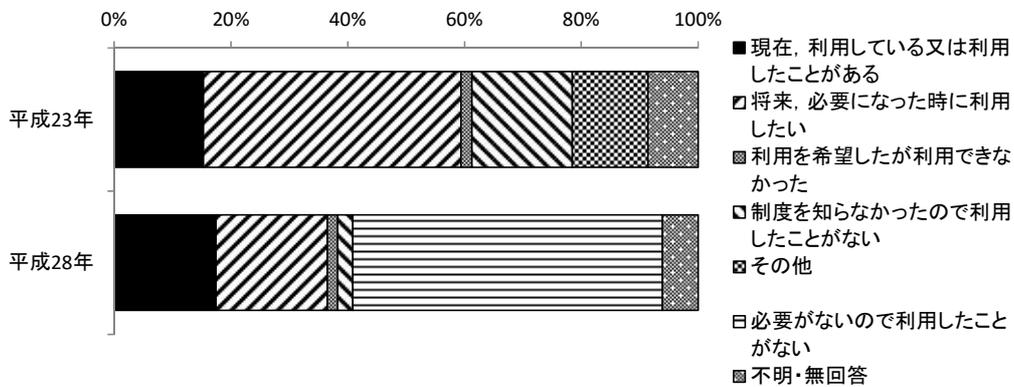
問 1 8 (3) 生活介護の利用状況

(単位：%)

	平成 23 年	平成 28 年
現在、利用している又は利用したことがある	15.3	17.4
将来、必要になった時に利用したい	44.0	19.1
利用を希望したが利用できなかった	1.9	1.7
制度を知らなかったので利用したことがない	17.2	2.6
その他 *1	12.9	-
必要がないので利用したことがない *2	-	53.0
不明・無回答	8.6	6.1
合計	100.0	100.0
n	209	115

*1 平成28年は項目なし

*2 平成28年追加項目

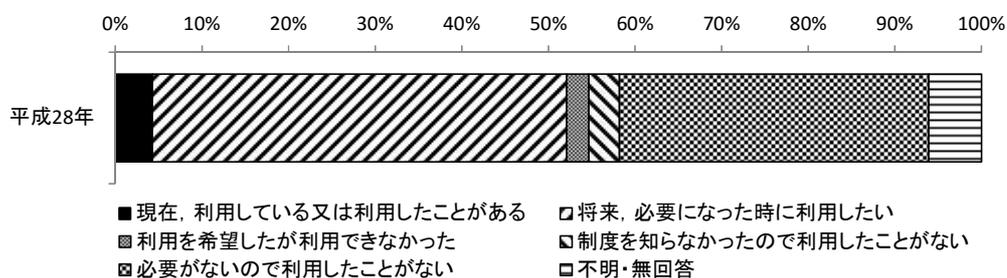


共同生活援助（グループホーム）は、「将来、必要になった時に利用したい」が47.8%と最も多く、次いで「必要がないので利用したことがない」が35.7%となっている。

問 1 8 (1 0) 共同生活援助（グループホーム）の利用状況

(単位：%)

	平成 28 年
現在、利用している又は利用したことがある	4.3
将来、必要になった時に利用したい	47.8
利用を希望したが利用できなかった	2.6
制度を知らなかったので利用したことがない	3.5
必要がないので利用したことがない	35.7
不明・無回答	6.1
合計	100.0
n	115

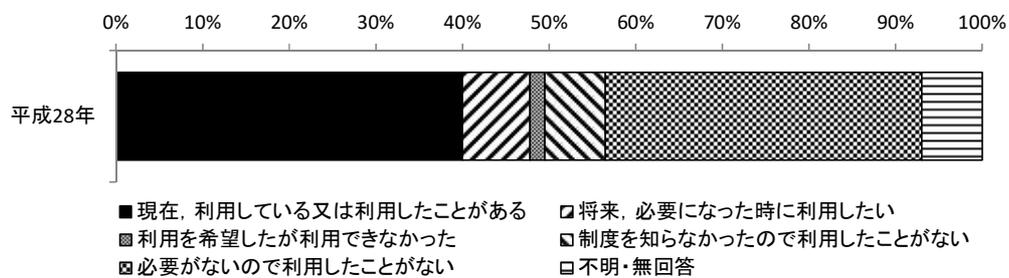


障害児・通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス等）は、「現在、利用している又は利用したことがある」が40.0%と最も多く、次いで「必要がないので利用したことがない」が36.5%となっている。

問18（16） 障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス等）の利用状況

(単位：%)

	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	40.0
将来、必要になった時に利用したい	7.8
利用を希望したが利用できなかった	1.7
制度を知らなかったので利用したことがない	7.0
必要がないので利用したことがない	36.5
不明・無回答	7.0
合計	100.0
n	115

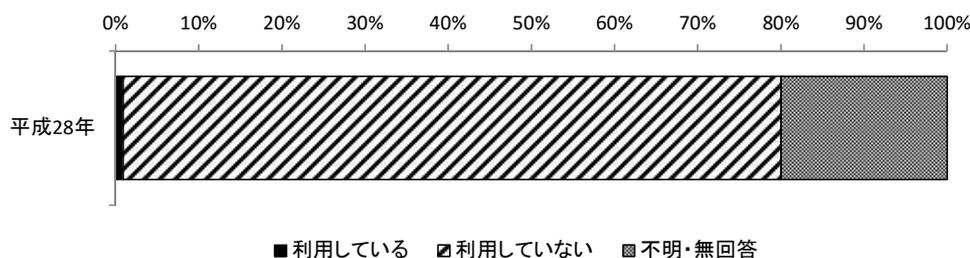


介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が0.9%、「利用していない」が79.1%となっている。

問22 介護保険サービスの利用の有無

(単位：%)

	平成28年
利用している	0.9
利用していない	79.1
不明・無回答	20.0
合計	100.0
n	115

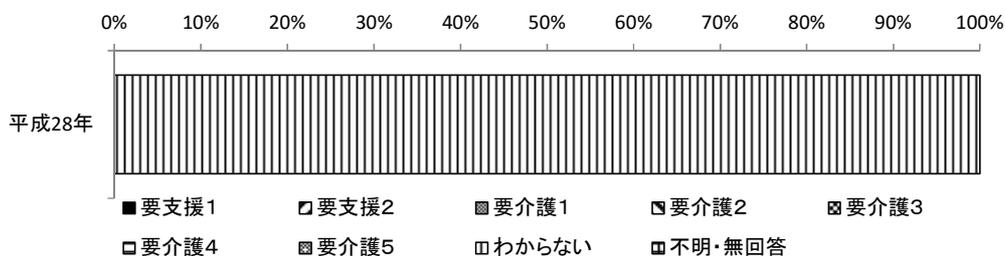


要介護認定区分は、該当する1人が「わからない」と回答している。

問23-1 要介護認定区分

(単位：%)

	平成28年
要支援1	0.0
要支援2	0.0
要介護1	0.0
要介護2	0.0
要介護3	0.0
要介護4	0.0
要介護5	0.0
わからない	100.0
不明・無回答	0.0
合計	100.0
n	1

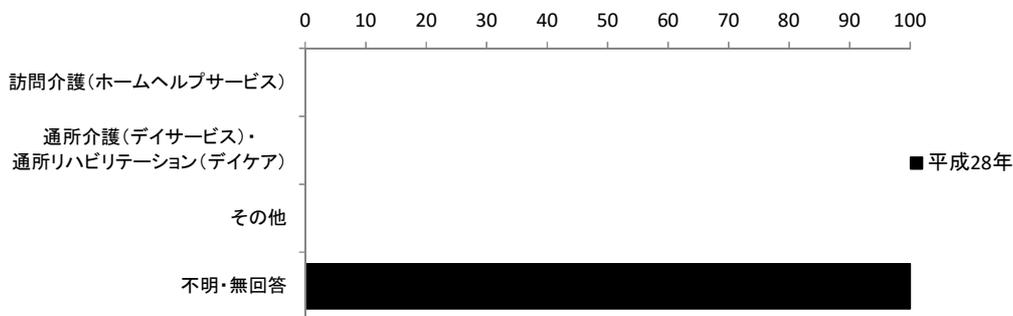


利用している介護保険サービスについては、該当する1人が「不明・無回答」と回答している。

問23-2 利用している介護保険サービス（複数回答）

(単位：%)

	平成28年
訪問介護（ホームヘルプサービス）	0.0
通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーション（デイケア）	0.0
その他	0.0
不明・無回答	100.0
合計	100.0
n	1



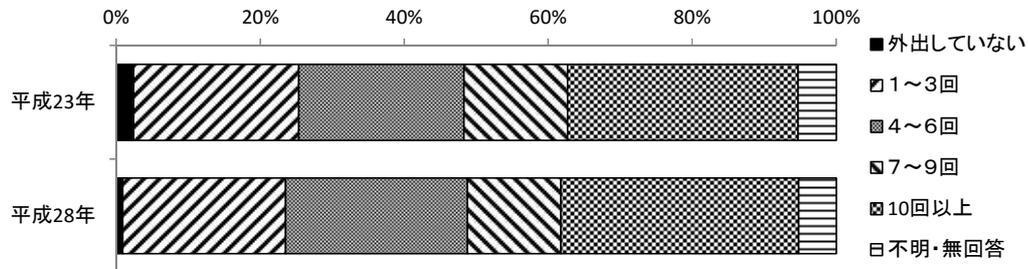
●外出の状況

外出回数（仕事・通学以外の場合）については、「10回以上」が33.0%と最も多く、ついで「4～6回」が25.2%となっている。

問26（2） 仕事・通学以外の場合の外出回数

（単位：％）

	平成23年	平成28年
外出していない	2.4	0.9
1～3回	23.0	22.6
4～6回	23.0	25.2
7～9回	14.4	13.0
10回以上	32.1	33.0
不明・無回答	5.3	5.2
合計	100.0	100.0
n	209	115



外出の際の問題点（複数回答）については、「電車の遅れや急な停止，その他通常以外の事態が起こったときに，強い不安を感じたりパニックになったりする」が48.7%と最も多く，ついで「介助者（ガイドヘルパーなどを含む）がいない」が24.3%となっている。

問29 外出の際の問題点（複数回答3つまで）

（単位：％）

	平成23年	平成28年
道路や駅に階段や段差が多い	6.7	1.7
利用できる交通機関が少ない	9.6	7.8
車などに危険を感じる	16.3	20.0
介助者（ガイドヘルパーなどを含む）がいない	12.4	24.3
駅や道路の案内や表示がわかりにくい	16.7	10.4
電車の遅れや急な停止，その他通常以外の事態が起こったときに，強い不安を感じたりパニックになったりする	45.0	48.7
その他	16.7	15.7
特になし	25.8	22.6
不明・無回答	5.3	4.3
合計	154.5	155.5
n	209	115

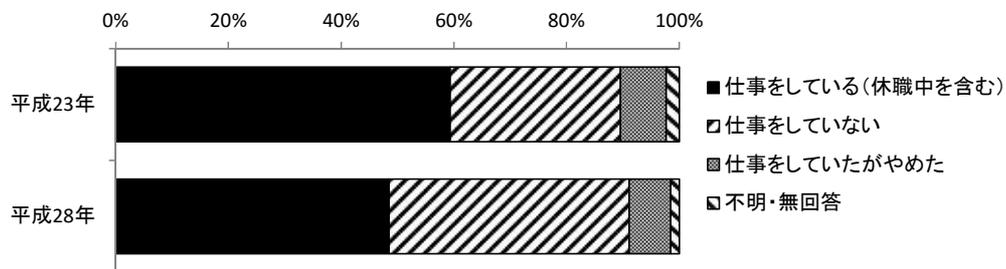
●就労（仕事）・収入の状況（18歳以上）

就労状況については、「仕事をしている（休職中を含む）」が48.5%、「仕事をしていない」と「仕事をしていたがやめた」を合わせると50.0%となっている。

問30 就労状況

（単位：％）

	平成23年	平成28年
仕事をしている（休職中を含む）	59.3	48.5
仕事をしていない	30.2	42.6
仕事をしていたがやめた	8.1	7.4
不明・無回答	2.3	1.5
合計	100.0	100.0
n	86	68



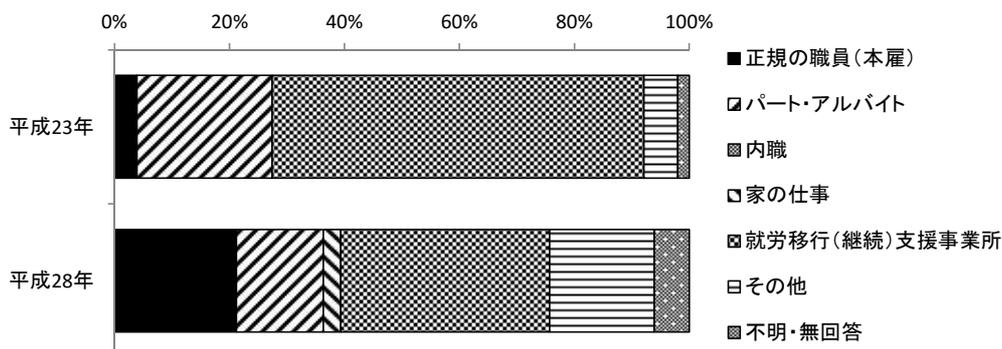
就労している人の就労形態については、「就労移行（継続）支援事業所」が36.4%で最も多く、次いで、「正規の職員（本雇）」が21.2%「パート・アルバイト」が15.2%などと続いている。

問31-3 就労形態

（単位：％）

	平成23年	平成28年
正規の職員（本雇）	3.9	21.2
パート・アルバイト	23.5	15.2
内職	0.0	0.0
家の仕事	0.0	3.0
就労移行（継続）支援事業所*	64.7	36.4
その他	5.9	18.2
不明・無回答	2.0	6.1
合計	100.0	100.0
n	51	33

* 平成23年は「就労移行（継続）支援事業所、授産施設、共同作業所など」

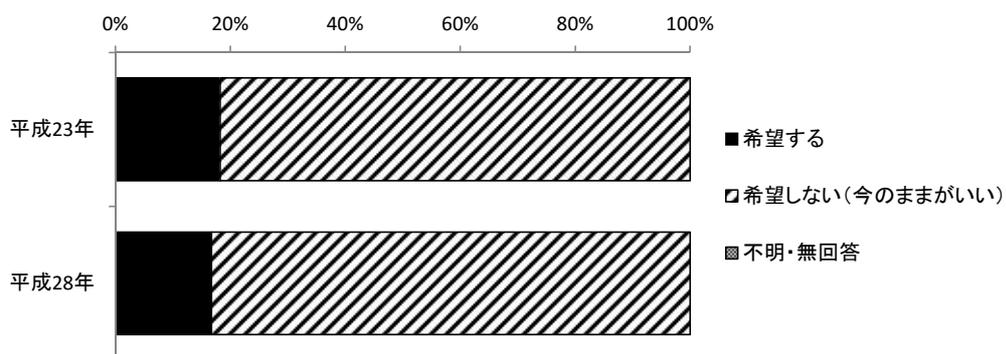


「就労移行（継続）支援事業所」で働く人のうち、今後、企業での就労を希望している割合は16.7%である。

問3 1-4-1 企業での就労希望の有無

(単位：%)

	平成23年	平成28年
希望する	18.2	16.7
希望しない(今のままがいい)	81.8	83.3
不明・無回答	0.0	0.0
合計	100.0	100.0
n	33	12

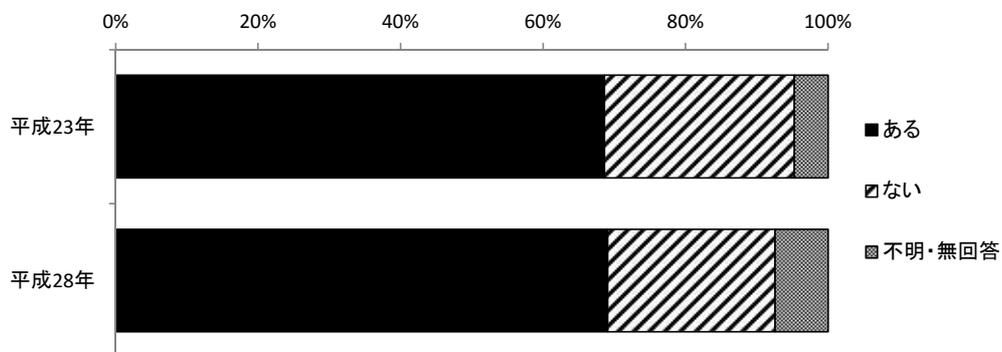


収入の有無では、「ある」が69.1%、「ない」が23.5%となっている。

問3 4 収入の有無

(単位：%)

	平成23年	平成28年
ある	68.6	69.1
ない	26.7	23.5
不明・無回答	4.7	7.4
合計	100.0	100.0
n	86	68

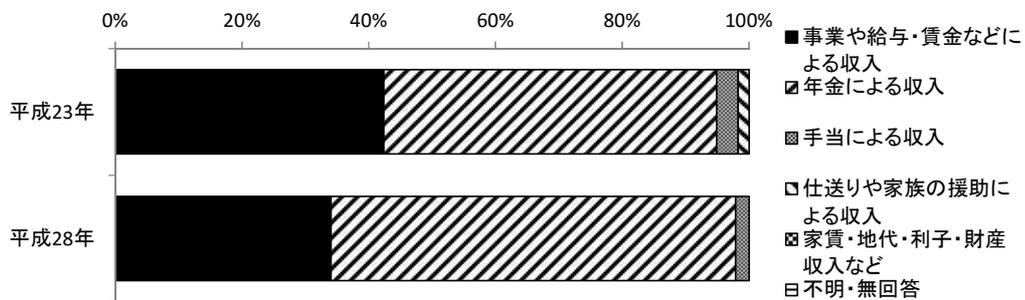


収入の種類では、「年金による収入」が最も多く63.8%と約6割を占め、次いで「事業や給与・賃金などによる収入」が34.0%と続いている。他の収入については5%未満となっている。

問35-1 収入の種類

(単位：%)

	平成23年	平成28年
事業や給与・賃金などによる収入	42.4	34.0
年金による収入	52.5	63.8
手当による収入	3.4	2.1
仕送りや家族の援助による収入	1.7	0.0
家賃・地代・利子・財産収入など	0.0	0.0
不明・無回答	0.0	0.0
合計	100.0	100.0
n	59	47

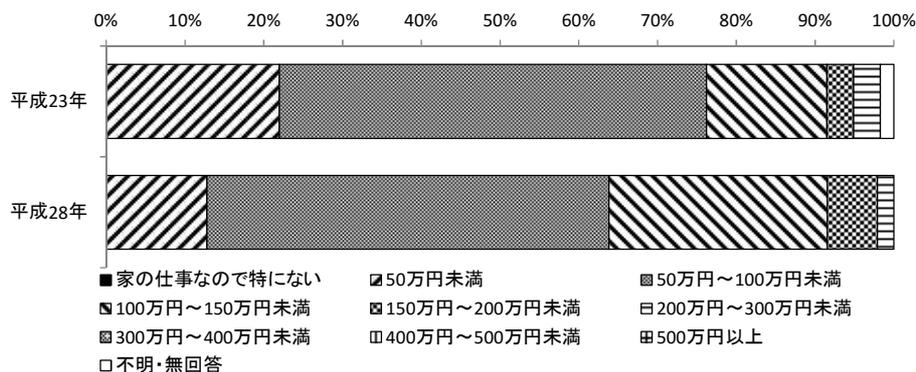


収入の額では、「50万円～100万円未満」が51.1%、「100万円～150万円未満」が27.7%、「50万円未満」が12.8%と続いている。

問35-2 収入額

(単位：%)

	平成23年	平成28年
家の仕事なので特にない	0.0	0.0
50万円未満	22.0	12.8
50万円～100万円未満	54.2	51.1
100万円～150万円未満	15.3	27.7
150万円～200万円未満	3.4	6.4
200万円～300万円未満	3.4	2.1
300万円～400万円未満	0.0	0.0
400万円～500万円未満	0.0	0.0
500万円以上	0.0	0.0
不明・無回答	1.7	0.0
合計	100.0	100.0
n	59	47



●教育の状況

就学前教育（複数回答）は、「障害児通所施設」が6.4%、次いで「幼稚園」、 「その他」が2.1%となっている。

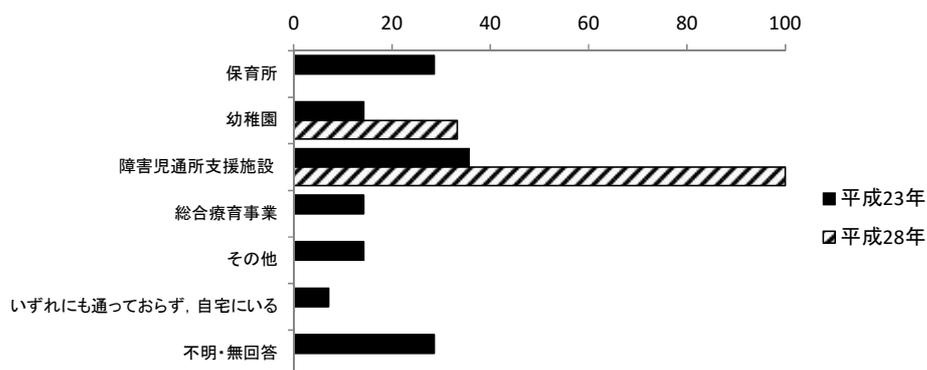
問37-1 就学前教育の状況（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成23年	平成28年
保育所	28.6	0.0
幼稚園	14.3	33.3
障害児通所支援施設 *1	35.7	100.0
総合療育事業 *2	14.3	0.0
その他	14.3	0.0
いずれにも通っておらず、自宅にいる	7.1	0.0
不明・無回答	28.6	0.0
合計	142.9	133.3
n	14	3

*1 平成23年までは障害児通所施設

*2 平成23年までは総合療育施設 平成18年以降追加項目



就学状況を小学校・中学校・高等学校別にみると、「小学校（部）」では、「普通学校【通常学級】」が29.5%、普通学校【育成学級】が15.9%の順となっている。

「中学校（部）」では、「普通学校【育成学級】」が15.9%、「普通学校【通常学級】」が9.1%の順となっている。

「高等学校（高等部）」では、「総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】」が4.5%で最も多くなっている。

問38-1 就学している学校

(単位：%)

		平成23年	平成28年
小学部	普通学校【通常学級】	19.2	29.5
	普通学校【育成学級】*1	11.2	15.9
	総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】	6.4	4.5
	総合支援学校【特別支援学校（訪問籍）】	0.8	0.0
	盲学校	0.0	0.0
	ろう学校	0.0	2.3
中学部	普通学校【通常学級】	11.2	9.1
	普通学校【育成学級】*1	4.8	15.9
	総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】	5.6	6.8
	総合支援学校【特別支援学校（訪問籍）】	0.0	0.0
	盲学校	0.0	0.0
	ろう学校	0.0	0.0
高等部	普通学校	15.2	2.3
	総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】	13.6	4.5
	総合支援学校【特別支援学校（訪問籍）】	0.0	2.3
	盲学校	0.0	0.0
	ろう学校	0.0	0.0
	その他	4.8	6.8
	不明・無回答	7.2	0.0
	合計	100.0	100.0
n	125	44	

*1 平成23年は普通学校【特別支援学級】

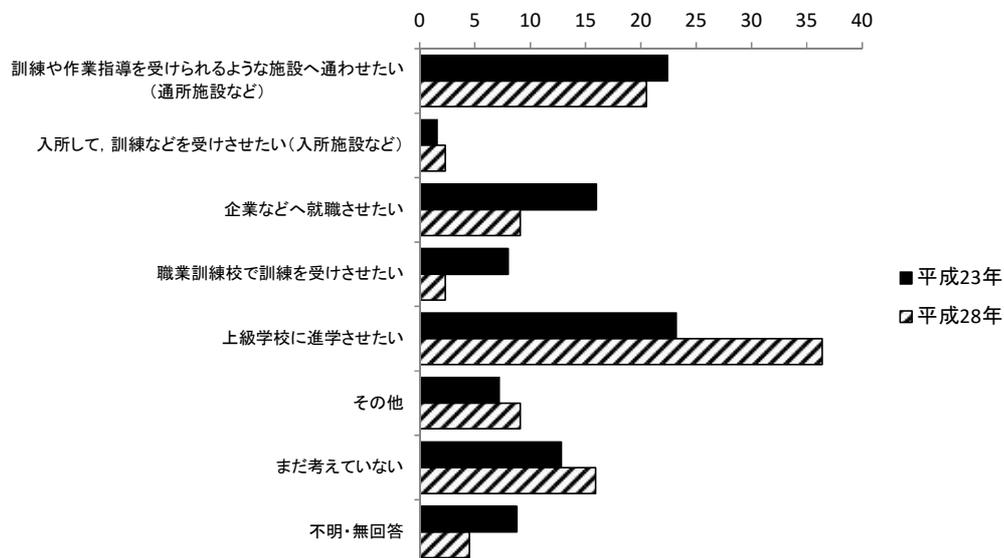


高等学校（高等部）卒業後の進路希望については、「上級学校に進学させたい」が36.4%，次いで「訓練や作業指導を受けられるような施設へ通わせたい（通所施設など）」が20.5%となっている。

問38-2 卒業後の進路希望

(単位：%)

	平成23年	平成28年
訓練や作業指導を受けられるような施設へ通わせたい（通所施設など）	22.4	20.5
入所して、訓練などを受けさせたい（入所施設など）	1.6	2.3
企業などへ就職させたい	16.0	9.1
職業訓練校で訓練を受けさせたい	8.0	2.3
上級学校に進学させたい	23.2	36.4
その他	7.2	9.1
まだ考えていない	12.8	15.9
不明・無回答	8.8	4.5
合計	100.0	100.0
n	125	44



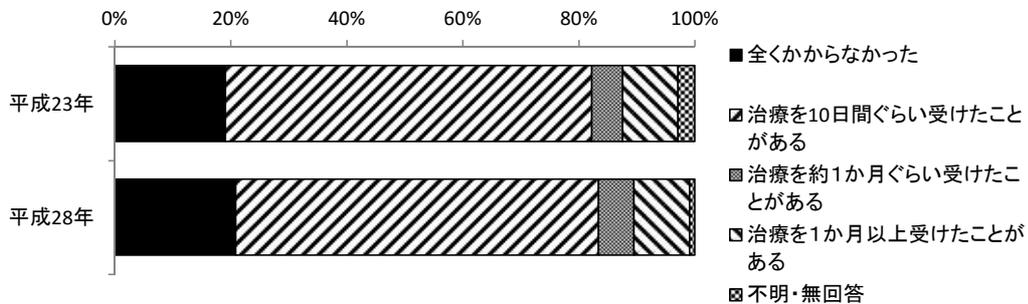
●健康・医療などの状況

過去1年間の治療状況については、「治療を10日間ぐらい受けたことがある」が62.6%と最も多く、次いで「全くかからなかった」が20.9%となっている。

問39 過去1年間の治療の状況

(単位：%)

	平成23年	平成28年
全くかからなかった	19.1	20.9
治療を10日間ぐらい受けたことがある	63.2	62.6
治療を約1か月ぐらい受けたことがある	5.3	6.1
治療を1か月以上受けたことがある	9.6	9.6
不明・無回答	2.9	0.9
合計	100.0	100.0
n	209	115



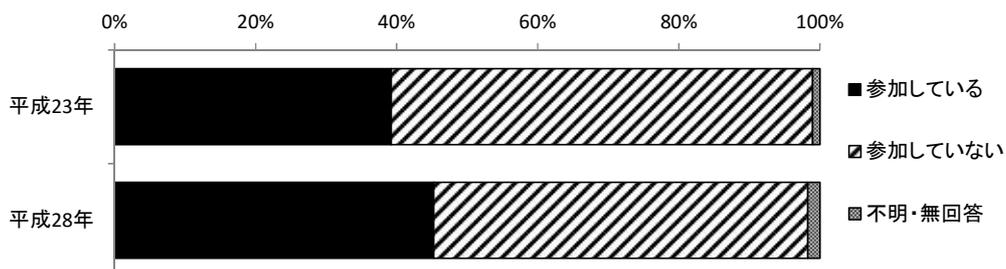
●社会参加の状況

スポーツや文化活動などの社会活動に「参加している」人は45.2%、「参加していない」人は53.0%となっている。

問43 スポーツや文化活動など社会活動参加の状況

(単位：%)

	平成23年	平成28年
参加している	39.2	45.2
参加していない	59.8	53.0
不明・無回答	1.0	1.7
合計	100.0	100.0
n	209	115

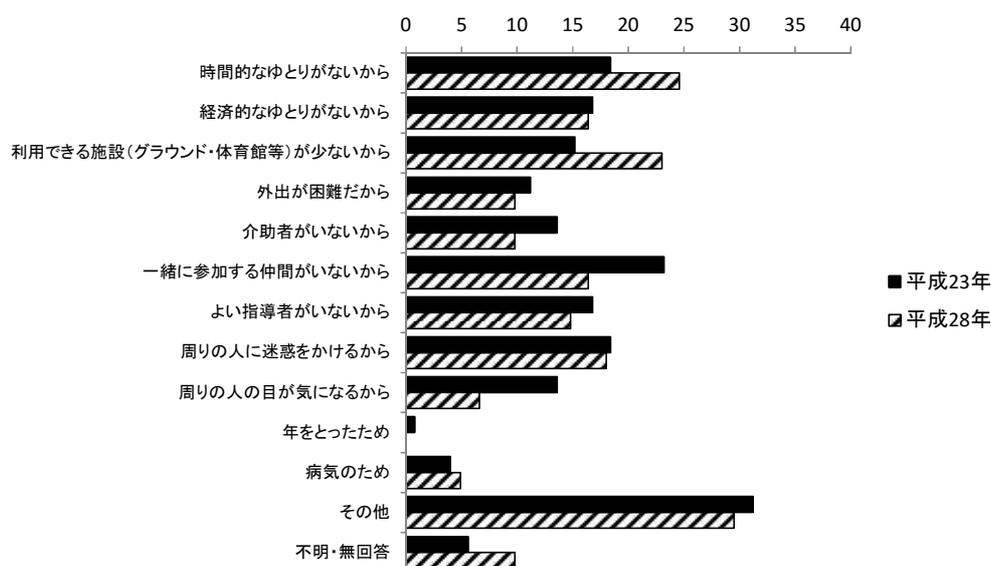


参加していない理由（複数回答）は、「その他」が29.5%と最も多く、次いで「時間的なゆとりがないから」が24.6%、「利用できる施設（グラウンド・体育館等）が少ないから」が23.0%となっている。

問45-1 社会活動に参加していない理由（複数回答3つまで）

（単位：％）

	平成23年	平成28年
時間的なゆとりがないから	18.4	24.6
経済的なゆとりがないから	16.8	16.4
利用できる施設（グラウンド・体育館等）が少ないから	15.2	23.0
外出が困難だから	11.2	9.8
介助者がいないから	13.6	9.8
一緒に参加する仲間がいないから	23.2	16.4
よい指導者がいないから	16.8	14.8
周りの人に迷惑をかけるから	18.4	18.0
周りの人の目が気になるから	13.6	6.6
年をとったため	0.8	0.0
病気のため	4.0	4.9
その他	31.2	29.5
不明・無回答	5.6	9.8
合計	188.8	183.6
n	125	61



●災害時の対応

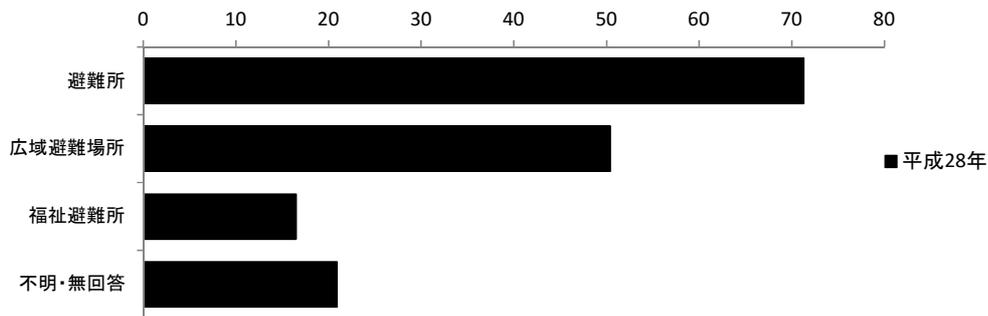
避難場所の認知（複数回答）については、「避難所」が71.3%と最も多く、次いで「広域避難場所」が50.4%となっている。

問46 避難場所の認知（複数回答）*

（単位：％）

	平成23年	平成28年
「一時避難場所」と「広域避難場所」の両方を知っている	27.8	-
「一時避難場所」だけ知っている	15.8	-
「広域避難場所」だけ知っている	12.4	-
両方とも知らない	40.2	-
避難所	-	71.3
広域避難場所	-	50.4
福祉避難所	-	16.5
不明・無回答	3.8	20.9
合計	100.0	159.1
n	209	115

* 平成23年は単数回答

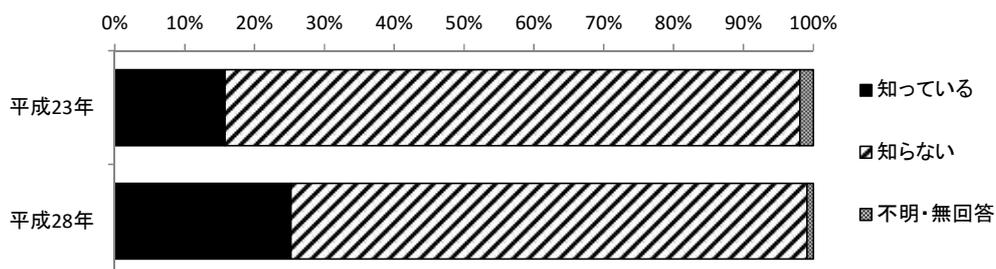


自主防災組織の認知については、「知っている」が25.2%、「知らない」が73.9%となっている。

問48 自主防災組織の認知

（単位：％）

	平成23年	平成28年
知っている	15.8	25.2
知らない	82.3	73.9
不明・無回答	1.9	0.9
合計	100.0	100.0
n	209	115

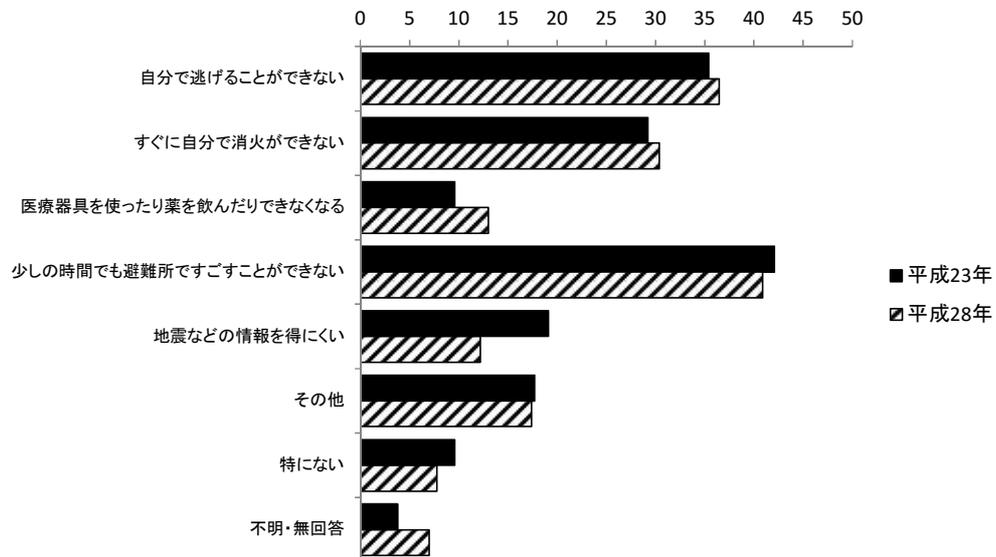


災害時の不安（複数回答）については、「少しの時間でも避難所ですぐすことができない」が40.9%と最も多く、次いで「自分で逃げる事ができない」が36.5%となっている。

問5 2 災害時の不安（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成23年	平成28年
自分で逃げる事ができない	35.4	36.5
すぐに自分で消火ができない	29.2	30.4
医療器具を使ったり薬を飲んだりできなくなる	9.6	13.0
少しの時間でも避難所ですぐすことができない	42.1	40.9
地震などの情報を得にくい	19.1	12.2
その他	17.7	17.4
特にない	9.6	7.8
不明・無回答	3.8	7.0
合計	166.5	165.2
n	209	115



●福祉施策への要望など

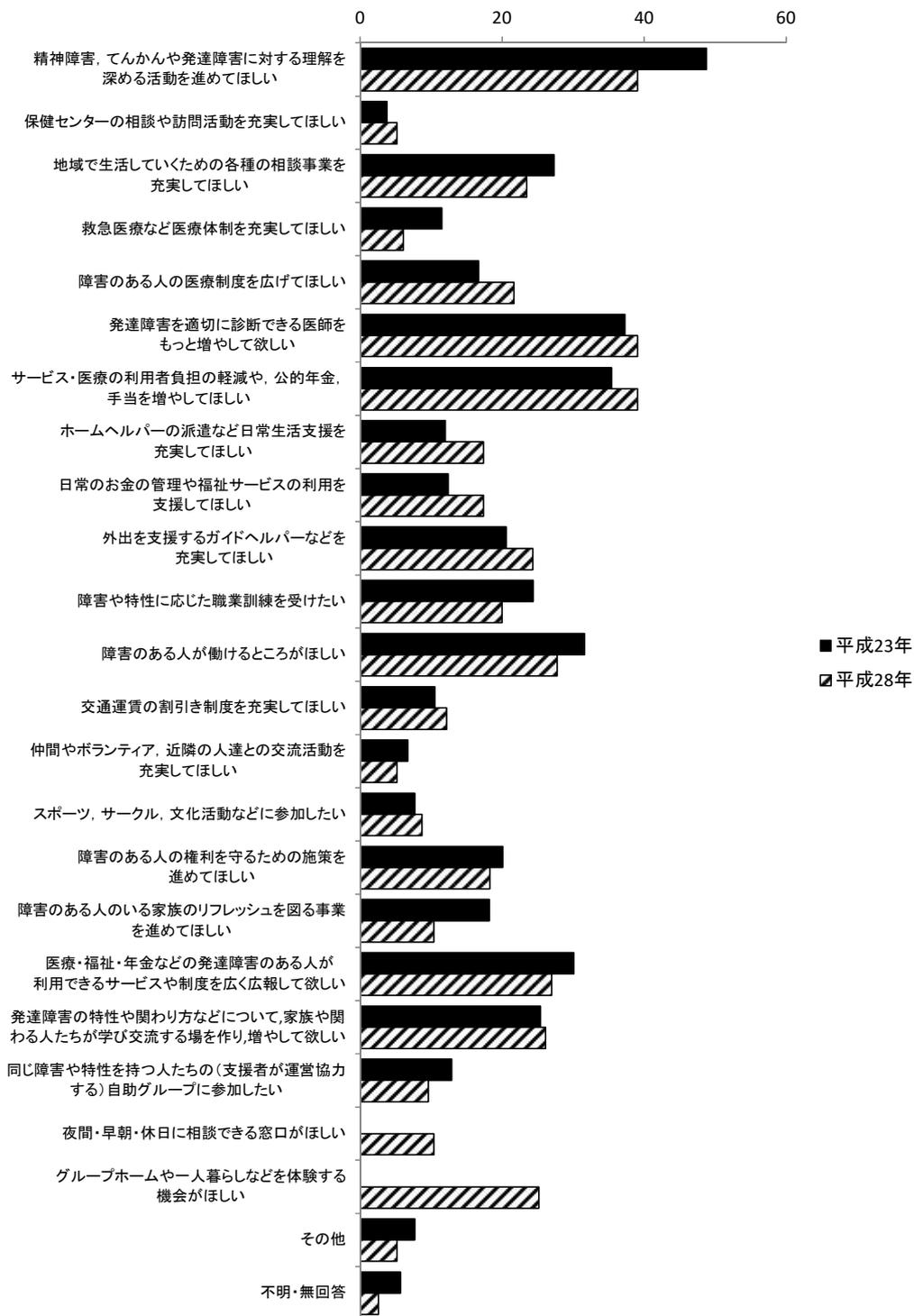
福祉施策への要望（複数回答）については、「精神障害，てんかんや発達障害に対する理解を深める活動を進めてほしい」「発達障害を適切に診断できる医師をもっと増やして欲しい」「サービス・医療の利用者負担の軽減や，公的年金，手当を増やしてほしい」がいずれも39.1%と最も多く，ついで「障害のある人が働けるところがほしい」が27.8%となっている。

問58-2 福祉施策への要望（複数回答5つまで）

（単位：％）

	平成23年	平成28年
精神障害，てんかんや発達障害に対する理解を深める活動を進めてほしい	48.8	39.1
保健センターの相談や訪問活動を充実してほしい	3.8	5.2
地域で生活していくための各種の相談事業を充実してほしい	27.3	23.5
救急医療など医療体制を充実してほしい	11.5	6.1
障害のある人の医療制度を広げてほしい	16.7	21.7
発達障害を適切に診断できる医師をもっと増やして欲しい	37.3	39.1
サービス・医療の利用者負担の軽減や，公的年金，手当を増やしてほしい	35.4	39.1
ホームヘルパーの派遣など日常生活支援を充実してほしい	12.0	17.4
日常のお金の管理や福祉サービスの利用を支援してほしい	12.4	17.4
外出を支援するガイドヘルパーなどを充実してほしい	20.6	24.3
障害や特性に応じた職業訓練を受けたい	24.4	20.0
障害のある人が働けるところがほしい	31.6	27.8
交通運賃の割引き制度を充実してほしい	10.5	12.2
仲間やボランティア，近隣の人達との交流活動を充実してほしい	6.7	5.2
スポーツ，サークル，文化活動などに参加したい	7.7	8.7
障害のある人の権利を守るための施策を進めてほしい	20.1	18.3
障害のある人のいる家族のリフレッシュを図る事業を進めてほしい	18.2	10.4
医療・福祉・年金などの発達障害のある人が利用できるサービスや制度を広く広報して欲しい	30.1	27.0
発達障害の特性や関わり方などについて，家族や関わる人たちが学び交流する場を作り，増やして欲しい	25.4	26.1
同じ障害や特性を持つ人たちの（支援者が運営協力する）自助グループに参加したい	12.9	9.6
夜間・早朝・休日に相談できる窓口がほしい*	-	10.4
グループホームや一人暮らしなどを体験する機会がほしい*	-	25.2
その他	7.7	5.2
不明・無回答	5.7	2.6
合計	426.8	441.6
n	209	115

* 平成28年追加項目



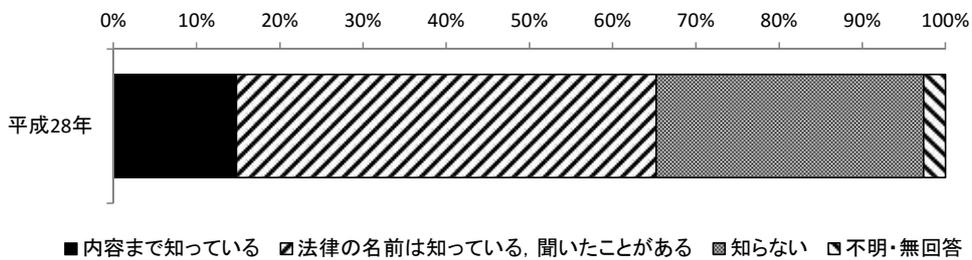
●障害者差別解消法の認知

障害者差別解消法の認知については、「法律の名前は知っている、聞いたことがある」が50.4%で最も多く、次いで「知らない」が32.2%、「内容まで知っている」が14.8%となっている。

問59 障害者差別解消法の認知

(単位：%)

	平成28年
内容まで知っている	14.8
法律の名前は知っている、聞いたことがある	50.4
知らない	32.2
不明・無回答	2.6
合計	100.0
n	115



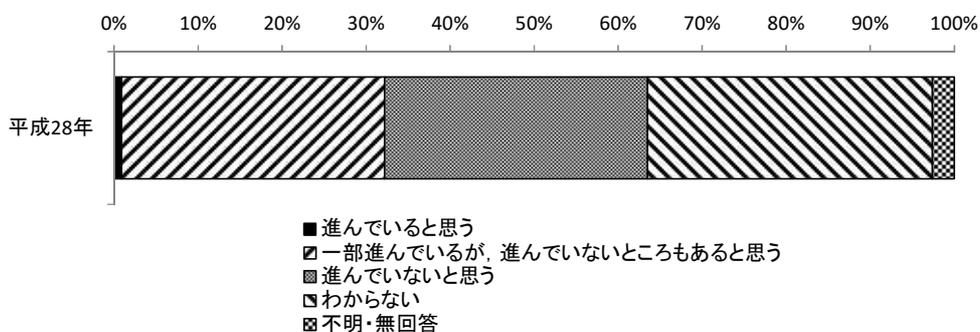
● 「支えあうまち・京都ほほえみプラン」の進捗状況

お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発については、「わからない」が33.9%で最も高く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」と「進んでいないと思う」が同率の31.3%、「進んでいると思う」が0.9%となっている。

問60-1 お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	0.9
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	31.3
進んでいないと思う	31.3
わからない	33.9
不明・無回答	2.6
合計	100.0
n	115

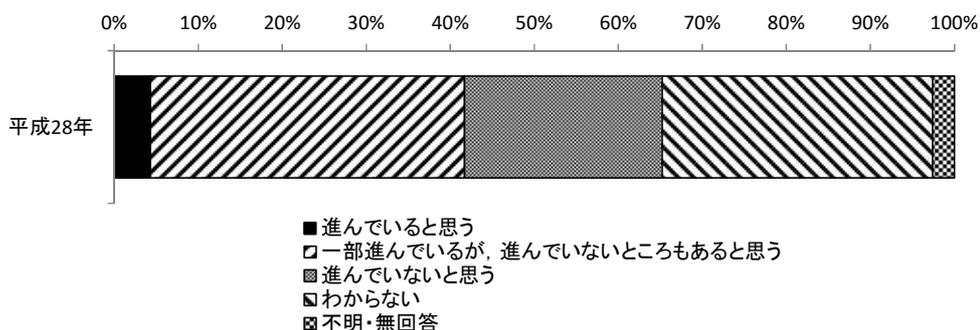


障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくりについては、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が37.4%で最も高く、次いで「わからない」が32.2%、「進んでいないと思う」が23.5%、「進んでいると思う」が4.3%となっている。

問60-2 障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	4.3
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	37.4
進んでいないと思う	23.5
わからない	32.2
不明・無回答	2.6
合計	100.0
n	115

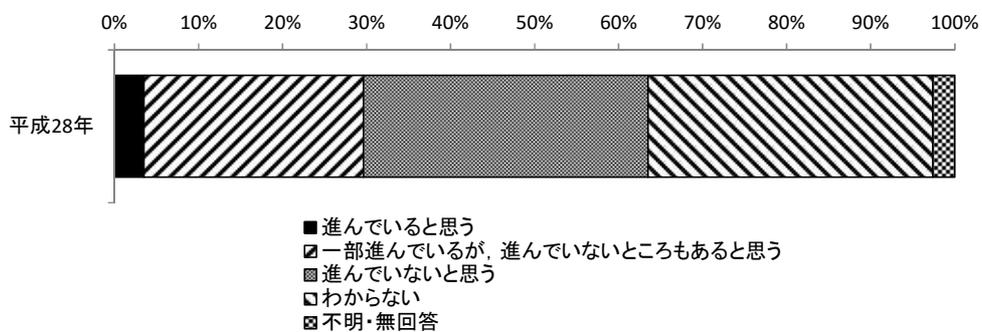


多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくりについては、「進んでいないと思う」と「わからない」が同率の33.9%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が26.1%、「進んでいると思う」が3.5%となっている。

問60-3 多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.5
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	26.1
進んでいないと思う	33.9
わからない	33.9
不明・無回答	2.6
合計	100.0
n	115

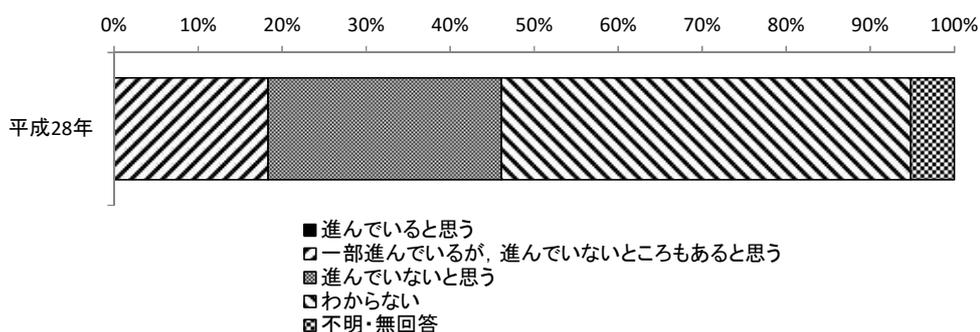


精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくりについては、「わからない」が48.7%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が27.8%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が18.3%となっている。

問60-4 精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	0.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	18.3
進んでいないと思う	27.8
わからない	48.7
不明・無回答	5.2
合計	100.0
n	115

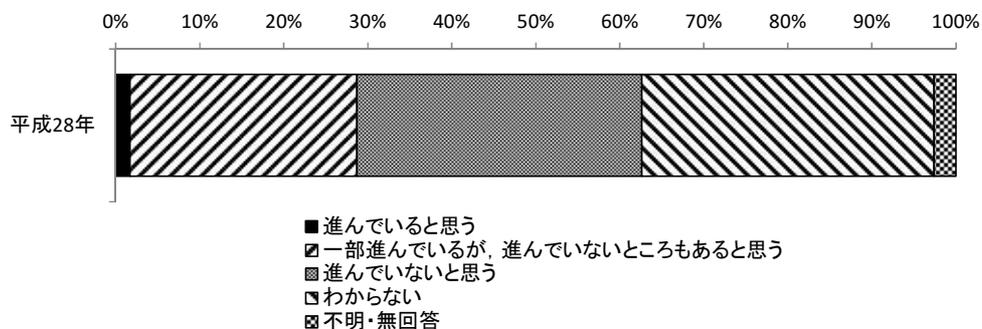


一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築については、「わからない」が34.8%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が33.9%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が27.0%、「進んでいると思う」が1.7%となっている。

問60-5 一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.7
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	27.0
進んでいないと思う	33.9
わからない	34.8
不明・無回答	2.6
合計	100.0
n	115



人にやさしく安心・安全なまちづくりについては、「進んでいないと思う」が37.4%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が31.3%、「わからない」が27.8%、「進んでいると思う」が0.9%となっている。

問60-6 人にやさしく安心・安全なまちづくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	0.9
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	31.3
進んでいないと思う	37.4
わからない	27.8
不明・無回答	2.6
合計	100.0
n	115

